BM iのスプールデータからPDFを 生成するニーズにいち早く対応し、 IBM i市 場 で 高 い 実 績 を 誇 る 「UT/400-iPDC」。

最新バージョン「UT/400-iPDC Ver8」では、数多くの機能拡張が実施されたが、ポイントは大きく2つある。

1つは「UT/400ダイレクト印刷オプション for CANON」との組み合わせにより、プリンタサーバー不要でIBM iからPDFをダイレクトにキヤノン製の複合機やレーザープリンタに印刷できるようになったこと(P111に詳細)。

そしてもう1つは、表現力の高い帳票をよりきめ細かく作り込めるよう、オーバーレイ機能を拡張したことである。その背景には、IBM iの専用プリンタからオープン系プリンタへ、自社仕様で事前印刷したストックフォームからカット紙へ移行し、コストダウンを図ろうというここ数年の動きがある。

開発・販売元であるアイエステクノポートによれば、ストックフォームからカット紙へ移行するに際して、ユーザーの多くはそれまで利用していたストックフォームの帳票デザインに強いこだわりを見せるという。

対外的に長く使用し、いわば取引先に対する「自社の顔」ともいうべき事前印刷帳票のイメージを、カット紙でどこまで再現できるか。あるいは今まで以上の表現力で、「新しい顔」を作り込めるか。それには帳票をき

図表 UT/400-iPDC Ver8の 主な機能拡張

_			
	1	オーバーレイの拡張	
	1-1	罫線関連	位置の微調整
1			太さ調整
			点線の点の長さ統一
	1-2	文字関連	開始位置、文字間微調整
			文字回転
1			文字の均等割付
			条件付き属性指定
			フォント追加
	1-3	バーコード関連	GS128追加
			バーコード幅調整
1			ブランクトリムの有無
			スタート・ストップコード選択
			設定数上限の変更
1	1-4	画像関連	画像種類追加
			設定数上限の変更
1	1-5	その他	マルチオーバーレイ
			設定数上限の変更
	2 PDF作成機能の拡張		法張
	2-1	設定パラメータ 追加および変更	個別余白調整
2			自動実行時の
			ページ範囲指定
2	2-2	しおり	ダブルバイト文字の対応

め細かく設計できるオーバーレイ機能が不可欠である。

そこで最新バージョンでは罫線の太さや位置の微調整、複雑な表の枠組みに対応し、文字関連についても開始位置調整、均等割り付け、文字回転(角度0~355度、5度単位)、条件付き書式英字フォントなどの機能を細かくサポートしている。

英字フォントとしてはArial、Courier、 Times New Romanを追加。画像はJPEG以 外にBMP、GIF、PNGなどが使用できるよう になった。

2-3			
2-3 ディレクトリネまび ファイル名称 設定数上限の変更 ディレクトリ名称と PDF名称に同一値を指定 2-4 プロパティ情報の設定 PDF文書プロパティ「概要」を外部指定可能に 3 運用関連 サブシステム名の変更を許可作成ジョブ制御の変更 3-2 IFS上のPDFの処理 削除コマンドの提供 4 連携処理関連 作成時のログをメッセージコード化作成時のログをファイルへ出力 4 連携処理関連 各連携時の時期別IDにスプール属性を指定可能にファイル転送&自動印刷の動的切り替え 4-2 ダイレクト印刷関連 OUTQおよびスプール単位に出力先のプリンタを指定可能に複数処理機能でのダイレクト印刷を指定スプール単位に 4-2 複数処理機能でのダイレクト印刷を指定スプール単位に		ファイル名称	用紙タイプを指定可能
2-3 ファイル名称 ファイル名称 設定数上限の変更ディレクトリ名称と同一値を指定 PDF名称に同一値を指定 PDF文書プロパティ「概要」を外部指定可能に 3 運用関連 サブシステム名の変更を許可作成ジョブ制御の変更 情成ジョブ制御の変更 3-2 IFS上の PDFの処理 作成時のログをメッセージコード化作成時のログをスァイルへ出力 4 連携処理関連 各連携時の時期別IDにスプール属性を指定可能にファイル転送&自動印刷の動的切り替え OUTQおよびスプール単位に出力先のブリンタを指定可能に複数処理機能でのダイレクト印刷を指定スプール単位に 4-2 ダイレクト印刷を指定スプール単位に			.,
2-4 プロパティ情報の PDF 名称に同一値を指定 PDF 名称に同一値を指定 2-4 設定 PDF 文書プロパティ「概要」を外部指定可能に 3 運用関連 Pプシステム名の 変更を許可 作成ジョブ制御の変更 作成ジョブ制御の変更 削除コマンドの提供 P成時のログを メッセージコード化 作成時のログを ファイルへ出力 4 連携処理関連 A=1 連携識別 A=連携時の時期別IDに スプール属性を指定可能に ファイル転送&自動印刷の動的切り替え OUTQおよびスプール単位に 出力先のプリンタを 指定可能に 複数処理機能での ダイレクト印刷を指定 スプール単位に スプール単位に	2-3		
2-4 プロパティ情報の設定 PDF文書プロパティ「概要」を外部指定可能に 3 運用関連 3-1 自動化関連 サブシステム名の変更を許可作成ジョブ制御の変更削除コマンドの提供 3-2 IFS上のPDFの処理 削除コマンドの提供を成時のログをメッセージコード化作成時のログをファイルへ出力 4 連携処理関連 4-1 連携処理関連 4-2 各連携時の時期別IDにスプール属性を指定可能にファイル転送&自動印刷の動的切り替えのUTのおよびスプール単位に出力先のプリンタを指定可能に複数処理機能でのダイレクト印刷を指定スプール単位に 4-2 複数処理機能でのダイレクト印刷を指定スプール単位に			* * * * * * # * * * * * * * * * * * * *
2-4 設定 を外部指定可能に 3 運用関連 3-1 自動化関連 サブシステム名の変更を許可作成ジョブ制御の変更作成ジョブ制御の変更 3-2 IFS上のPDFの処理 作成時のログをメッセージコード化作成時のログをファイルへ出力 4 連携処理関連 4-1 連携総別 A-1 本連携時の時期別IDにスプール属性を指定可能にファイル転送&自動印刷の動的切り替えのUTQおよびスプール単位に出力先のプリンタを指定可能に複数処理機能でのダイレクト印刷を指定スプール単位に 4-2 被処理機能でのダイレクト印刷を指定スプール単位に			
設定 を外部指定可能に 3 運用関連	2-4		
3-1 自動化関連 サブシステム名の変更を許可作成ジョブ制御の変更 3-2 IFS上のPDFの処理 削除コマンドの提供作成時のログをメッセージコード化作成時のログをファイルへ出力 4 連携処理関連 4-1 連携識別 A-1 基携地理関連 A-2 タイレクト印刷関連 A-2 タイレクト印刷関連 A-2 数処理機能でのタイレクト印刷を指定スプール単位に収拠している。 A-2 大イレクト印刷を指定スプール単位に A-2 大イレクト印刷を指定スプール単位に	- '	設定	を外部指定可能に
3-1 自動化関連 変更を許可 作成ジョブ制御の変更 3-2 IFS上の PDFの処理 削除コマンドの提供 3-3 ログ関連 作成時のログを メッセージコード化 作成時のログを ファイルへ出力 4 連携処理関連 4-1 連携識別 各連携時の時期別IDに スプール属性を指定可能に ファイル転送&自動印刷の 動的切り替え 0UTQおよびスプール単位に 出力先のプリンタを 指定可能に 複数処理機能での ダイレクト印刷を指定 スプール単位に	3	運用関連	
1		自動化関連	サブシステム名の
3-2 IFS上の PDFの処理 削除コマンドの提供 3-3 口グ関連 作成時のログを メッセージコード化 作成時のログを ファイルへ出力 4 連携処理関連 4-1 連携識別 各連携時の時期別IDに スプール属性を指定可能に ファイル転送&自動印刷の動的切り替え OUTQおよびスプール単位に 出力先のプリンタを 指定可能に 複数処理機能での ダイレクト印刷を指定 スプール単位に	3-1		変更を許可
3-2 PDFの処理 削除コマンドの提供 4 作成時のログをメッセージコード化作成時のログをファイルへ出力 4 連携処理関連 4-1 連携識別 各連携時の時期別IDにスプール属性を指定可能にファイル転送&自動印刷の動的切り替えのUTQおよびスプール単位に出力先のプリンタを指定可能に複数処理機能でのダイレクト印刷を指定スプール単位に			作成ジョブ制御の変更
PDFの処理	2 2	IFS上の	判除コランドの担併
3-3 ログ関連 メッセージコード化 作成時のログをファイルへ出力 4 連携処理関連 4-1 連携識別 各連携時の時期別IDにスプール属性を指定可能にファイル転送&自動印刷の動的切り替え 0UTQおよびスプール単位に出力先のプリンタを指定可能に複数処理機能でのダイレクト印刷を指定スプール単位に セント・ロールを指定スプール単位に	3-2	PDFの処理	別はコイントの徒供
4-2 関連 作成時のログをファイルへ出力 4・2 連携処理関連 4-2 本連携職別 各連携時の時期別IDにスプール属性を指定可能にファイル転送&自動印刷の動的切り替えのUTQおよびスプール単位に出力たのプリンタを指定可能に複数処理機能でのダイレクト印刷を指定スプール単位に		ログ関連	作成時のログを
4-2 (作成時のログを ファイルへ出力 4・1 連携処理関連 A・2 各連携時の時期別IDに スプール属性を指定可能に ファイル転送&自動印刷の 動的切り替え OUTQおよびスプール単位に 出力たのプリンタを 指定可能に 複数処理機能での ダイレクト印刷を指定 スプール単位に	3_3		メッセージコード化
4 連携処理関連 4-1 連携識別 各連携時の時期別IDにスプール属性を指定可能にファイル転送&自動印刷の動的切り替え 2 タイレクト印刷関連 OUTQおよびスプール単位に出力先のプリンタを指定可能に複数処理機能でのダイレクト印刷を指定スプール単位に	3-3		作成時のログを
4-1 連携識別			ファイルへ出力
4-1 連携識別 スプール属性を指定可能にファイル転送&自動印刷の動的切り替え OUTのおよびスプール単位に出力先のプリンタを指定可能に複数処理機能でのダイレクト印刷を指定スプール単位に	4	連携処理関連	
4-1 連携識別 ファイル転送&自動印刷の動的切り替え OUTQおよびスプール単位に出力先のプリンタを指定可能に複数処理機能でのダイレクト印刷を指定スプール単位に		連携識別	各連携時の時期別IDに
ファイル転送&自動印刷の動的切り替え OUTQおよびスプール単位に出力先のプリンタを指定可能に複数処理機能でのダイレクト印刷を指定スプール単位にスプール単位に	1 1		スプール属性を指定可能に
4-2 関連 OUTQおよびスプール単位に 出力先のプリンタを 指定可能に 複数処理機能での ダイレクト印刷を指定 スプール単位に	4-1		ファイル転送&自動印刷の
4-2ダイレクト印刷 関連出力先のプリンタを 指定可能に 複数処理機能での ダイレクト印刷を指定スプール単位に			動的切り替え
4-2 ダイレクト印刷 関連 指定可能に 複数処理機能での ダイレクト印刷を指定 スプール単位に			OUTQおよびスプール単位に
4-2 関連 複数処理機能での ダイレクト印刷を指定 スプール単位に			出力先のプリンタを
4-2 関連 複数処埋機能での ダイレクト印刷を指定 スプール単位に			指定可能に
ダイレクト印刷を指定スプール単位に	4-2		複数処理機能での
			ダイレクト印刷を指定
制御パターンを指定			スプール単位に
			制御パターンを指定

さらにページごとに異なるオーバーレイを 切り替えるマルチオーバーレイの数が1スプ ール当たり、今までの10種類から30種類に 拡張されている。

このほか、コンビニエンスストアの払込用 紙などに使用されるバーコード「GS128」へ オプションで対応するなど、PDF作成機能、 運用関連、連携処理など広範囲に多数の新 機能がサポートされている(図表)。

UT/400-iPDC Ver8

バージョンアップ PDF作成ツール

ストックフォームの帳票イメージを オーバーレイ機能できめ細かく作り込む

株式会社アイエステクノポート

http://www.istechnoport.co.jp/